4 主要商圏の構造

(1) 千葉商圏 (商業中心都市)

ア 商圏の概要

千葉商圏は、県中央部分一帯を中心に形成されており、前回調査では13市9町1村であったが、4市町が加わり、1市が外れ、15市 10町1村となった。新たに商圏に加わったのは、鴨川市、富津市、横芝光町及び君津市であり、それぞれ5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査と同様に千葉市のみで、吸引率は83.7%となっている。 第2次商圏は、前回調査時の4市3町に、第3次商圏から3市5町が加わって 7市8町となった。(吸引率15.3%)

第3次商圏は、前回調査時の8市6町1村から3市5町が第2次商圏に移動し、 1市が圏外へ出たものの、新たに3市1町が加わり、7市2町1村となった。 (吸引率7.0%)

商圏人口は、前回調査時(2,313,127人)から 4.2%増加して 2,410,743人 (千葉市の人口の約 2.5倍・県人口の 38.9%)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(39.6%)から1.2ポイント増加して40.8%となった。

吸引人口は、前回調査時(915,490 人)から、7.4%増加して 983,082 人 (千葉市人口の 102.1%) となった。

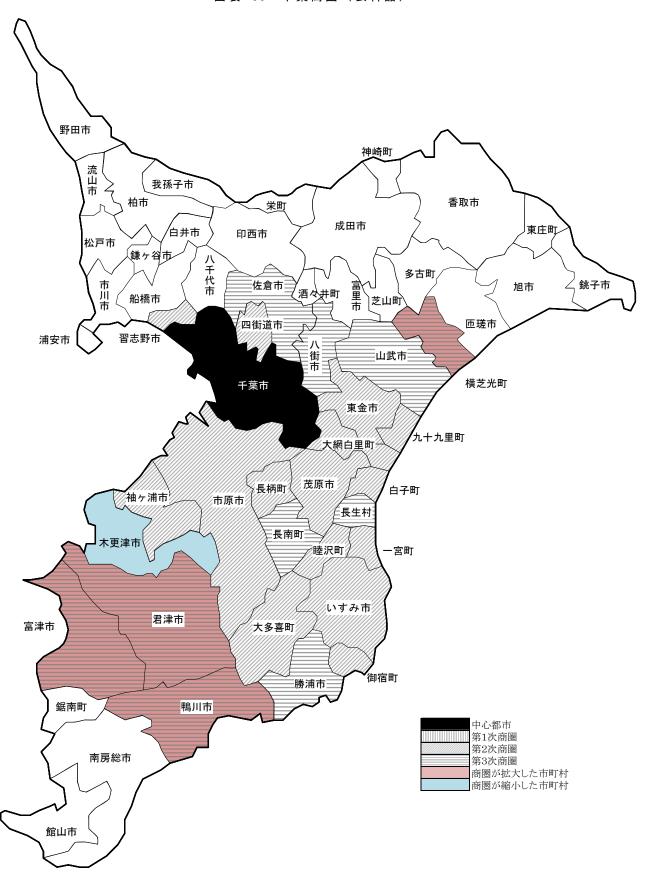
吸引力は、前回調査時(98.6%)から3.5ポイント増加して102.1%となった。

図表 37 千葉商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

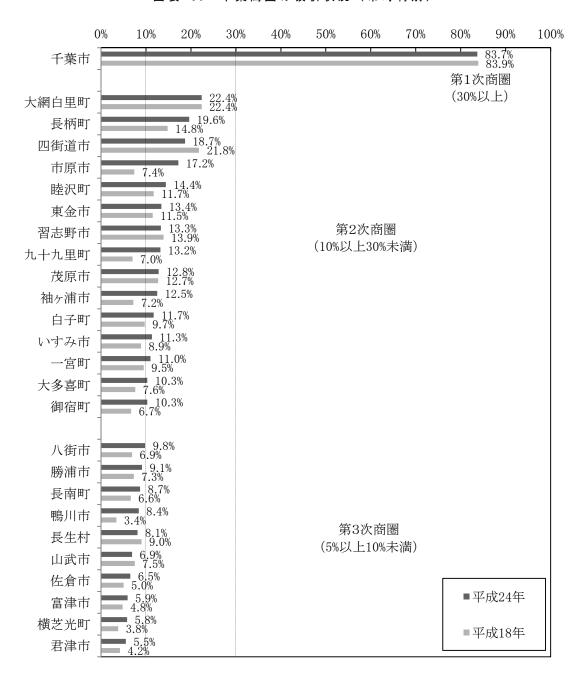
				平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計	1	83.7%	963,170	806,173	
(30%以上)		千葉市	83.7%	963,170	806,173	
第2次商圏	計	15	15.3%	909,835	139,075	
(10%以上30%未満)		大網白里町	22.4%	50,045	11,210	
		長柄町	19.6%	7,832	1,535	
		四街道市	18.7%	88,258	16,504	
		市原市	17.2%	278,962	47,981	第3次から
		睦沢町	14.4%	7,149	1,029	
		東金市	13.4%	61,337	8,219	
		習志野市	13.3%	165,286	21,983	
		九十九里町	13.2%	17,362	2,292	第3次から
		茂原市	12.8%	91,255	11,681	
		袖ヶ浦市	12.5%	60,453	7,557	第3次から
		白子町	11.7%	11,798	1,380	第3次から
		いすみ市	11.3%	40,074	4,528	第3次から
		一宮町	11.0%	11,962	1,316	第3次から
		大多喜町	10.3%	10,402	1,071	第3次から
		御宿町	10.3%	7,660	789	第3次から
第3次商圏	計	10	7.0%	537,738	37,834	
(5%以上10%未満)		八街市	9.8%	72,176	7,073	
		勝浦市	9.1%	20,109	1,830	
		長南町	8.7%	8,719	759	
		鴨川市	8.4%	35,079	2,947	新規
		長生村	8.1%	14,663	1,188	
		山武市	6.9%	54,826	3,783	
		佐倉市	6.5%	172,289	11,199	
		富津市	5.9%	47,209	2,785	新規
		横芝光町	5.8%	24,286	1,409	新規
		君津市	5.5%	88,382	4,861	新規
合計		26	40.8%	2,410,743	983,082	

		亚出10年	
_		平成18年	
	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
計	1	83.9%	
	千葉市	83.9%	
計	7	15.7%	
	大網白里町	22.4%	
	四街道市	21.8%	
	長柄町	14.8%	
	習志野市	13.9%	
	茂原市	12.7%	
	睦沢町	11.7%	
	東金市	11.5%	
計	15	6.8%	
	白子町		第2次へ
	一宮町		第2次へ
	長生村	9.0%	
	いすみ市		第2次へ
	大多喜町		第2次へ
	山武市	7.5%	
	市原市		第2次へ
	勝浦市	7.3%	
	袖ヶ浦市		第2次へ
	九十九里町		第2次へ
	八街市	6.9%	
	御宿町		第2次へ
	長南町	6.6%	
	木更津市	5.3%	圏外へ
	佐倉市	5.0%	
	23	39.6%	

図表 38 千葉商圏 (衣料品)



図表 39 千葉商圏の吸引状況 (市町村別)

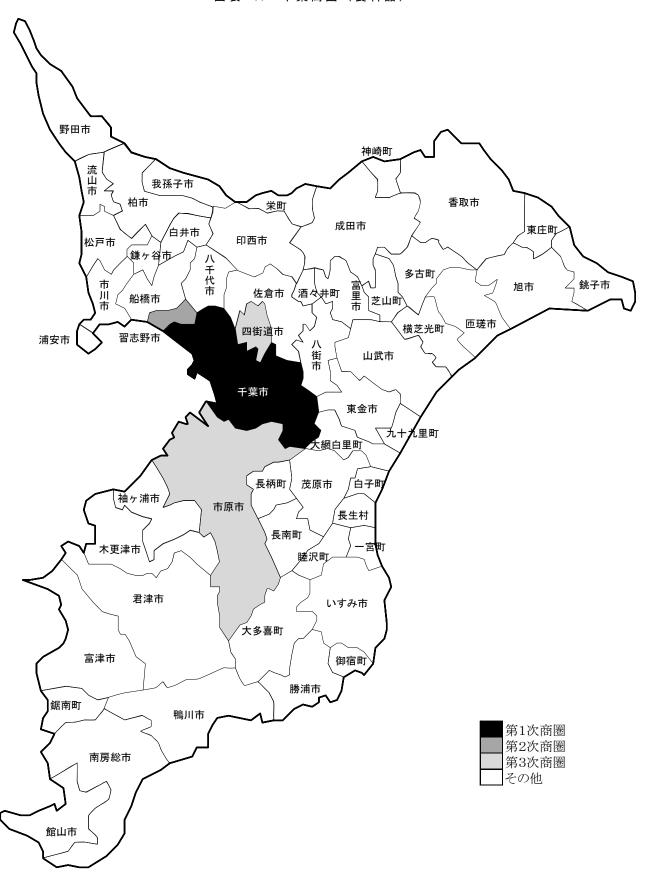


その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における千葉商圏内の市町村の変化を以下に示す。

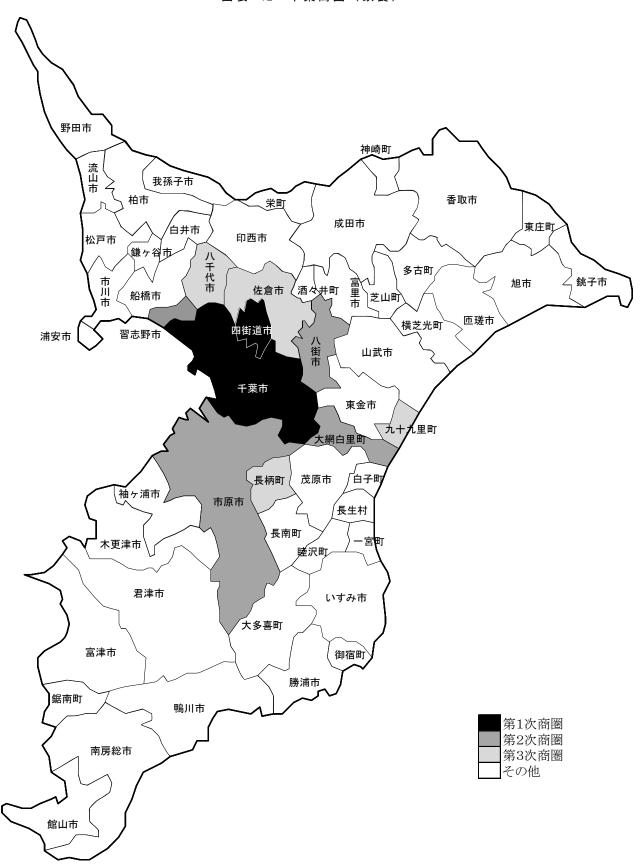
図表 40 千葉商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

市町村 市町村 市町村 市町村 市町村 市町村 田野変かのの 田野 田野 田野 田野 田野 田野 田野				平	成24年			平	成18年	
第1次商圏		商圏				前回調本からの				今回調本での
第1次前回 1		(基準吸引率)		市町村				市町村		
			-1			L7 - 2 ll	-1			127 · 2/10
# 22次 商圏 (10%以上10%未満) 計 (10.9% 第3次 から			計				計			
日本			21				- AI		92.3%	
## 2 5.48 四番道市 5.98 四番道市 19.18 四番道市			計				計	0		
図報道市	食		⇒L			第3次から	⊕1.			
中国市	料		βT				ΤĘ			the oxf
大田山里町 7 - 0.8 個外へ 技術町 6.28 個外へ 技術町 6.28 個外へ 技術町 6.28 個外へ 技術町 91.38 国内資産 44.0% 新2次所間 計 41.78 型志野市 12.68 新2次所間 計 41.33 第3次から 大田口町 12.68 新1次高間 (5%以上10%未満) 計 4 7.18 五田町 5.78 新2次から 大田口町 5.28 新2 大田口町 5.28 新2 大田口町 5.28 大田口町 5.28 大田口町 5.28 大田口町 12.68 新1次高間 (30%以上) 計 10 62.48	品	(5%以上10%木酒)				4r La				
全計				巾原巾	5.3%	新規				
京北 京田 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日										
第1次商圏		스타		1	62.20		-			色グト~~
千葉市 91.38 四街道市 44.05				4	02.2/0		느	J	11.170	
四街道市		第1次商圏	計	2	87.3%		計		87.2%	
# 2次商圏 (10%以上30%未満)		(30%以上)		千葉市	91.3%				91.8%	
(10%以上30%未満) 26.0% 大網白里町 1.1.4.5% 第3次から				四街道市	44.0%			四街道市	37.5%	
大綱自里町			計				計			
市原市		(10%以上30%未満)								
大侍市	A-L-									er
##						第3次から		長柄町	13.8%	第3次へ
佐倉市 8.88 新規	筤	M	31				31			
九十九里町 5.98 新規 市原市 5.78 第2次へ 1			計	-		due (m	計			1707 A.I.
長柄町 5.7% 第2次から 八千代市 5.5% 新規 7 60.9% 7 60.9		(5%以上10%未満)								
(30%以上)								巾原巾	5.7%	第2次へ
## 10 62.4% 7 1.1% 7 60.9% 第1次商圏										
第1次商圏 (30%以上)		스타				利况	_	7	60.0%	
千葉市 84.3% 四街道市 55.3% 市原市 37.2% 第2次から 大綱白里町 34.2% 37.2% 第2次から 大綱白里町 40.1% 大綱白里町 29.6% 長楠町 29.6% 長楠町 29.6% 長楠町 22.5% 東金市 24.4% 市原市 22.6% 第1次へ 軸ヶ浦市 19.1% 第6春市 19.1% 第6春市 19.1% 第6春市 19.1% 第6春市 14.9% 大東津市 14.9% 大東津市 14.9% 大東津市 14.0% 第6春市 13.3% 大東津町 10.3% 大東津町 10.3% 大東津町 12.5% 日子町 12.5% 日子				10	02.4%		<u> </u>	- 1	00.9%	
四街道市 55.3% 第2次から 大綱白里町 37.2% 第2次から 大綱白里町 34.2% 第2次から 大綱白里町 40.1% 大綱白里町 26.7% 独か浦市 22.3% 白子町 22.0% 茂原市 21.8% 東金市 22.8% 東金市 22.8% 東金市 22.8% 東金市 22.6% 第1次へ 地か浦市 22.6% 第1次へ 地か浦市 15.1% 東金市 16.8% 一宮町 16.8% 一宮町 16.8% 一宮町 16.8% 一宮町 14.9% 木更津市 14.0% 勝浦市 15.1% 潜逝市 13.4% 七倉市 13.3% 14.9% 13.4% 七倉市 13.3% 14.9% 14.9% 木更津市 14.3% 14.9%		第1次商圏	計		71.1%		計		84.4%	
市原市 37.2% 第2次から 大綱白里町 34.2% 計 18 17.2% 計 18 17.2% 計 19 17.8% 技綱市 26.7% 独々浦市 22.3% 巨子町 22.0% 技原市 25.7% 東金市 22.6% 第1次へ 東金市 19.1% 海宿町 15.1% 北小里町 16.8% 八街市 16.4% 勝浦市 15.1% 西季市 14.3% いずみ市 14.0% 勝浦市 14.3% いずみ市 14.0% 勝浦市 13.3% 一宮町 13.3% 一宮町 13.2% 八街市 13.1% 九十九里町 12.9% 日子町 12.8% 国志野市 12.7% 12.9% 日子町 12.8% 国志野市 12.7% 12.9% 日子町 12.8% 国志野市 12.7% 12.5% 長生村 11.6% 第3次へ 大多喜町 22.6% 第2次へ 大多喜町 23.8% 東土市 29.6% 第2次へ 大多喜町 29.8% 第2次へ 東土市 29.8% 和土市 29.8% 和土市 29.8% 和土市 29.8% 和土		(30%以上)		千葉市	84.3%				89.3%	
第2次商圏 (10%以上30%未満) 計 18 17.2% (10%以上30%未満) 提柄町 26.7% 地か浦市 22.3% 自子町 22.0% 茂原市 21.8% 車金市 20.8% 聴読沢町 18.8% 九十九里町 17.5% 佐倉市 16.8% 一宮町 16.8% 一宮町 16.8% 小街市 15.1% 超志野市 15.1% 超志野市 13.3% レマみ市 13.3% 大多喜町 12.7% 第3次から 最南町 10.8% 流々井町 10.3% 高津市 9.8% 木更津市 9.4% 素2次から 長生村 8.7% 第2次から 長生村 8.7% 第2次から 長生村 8.7% 第2次から 長生村 8.7% 第2次から 長生村 11.6% 第3次へ 横芝光町 9.3% 第2次へ 大多喜町 12.7% 11.7.6% 11.10% 第3次へ 11.10% 第3次へ 11.10% 第3次へ 11.10% 第3次へ 11.10% 第3次へ 12.5% 長生村 11.6% 第3次へ 13.5% 11.7.6% 12.7% 12.5% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.7% 13.1% 11.7.6% 12.7% 12.5% 12.7% 12.5% 12.5% 12.7% 12.5% 12.5% 12.5% 12.5% 13.3% 11.7.6% 13.1% 11.7.6% 13.1% 11.7.6% 13.1% 11.7.6% 12.5% 12.5% 12.5% 13.3% 13.1%										
第2次商圏						第2次から		大網白里町	40.1%	
長柄町 26.7% 独々浦市 22.3% 長柄町 25.7% 長柄町 22.6% 長柄町 25.7% 長柄町 22.6% 第1次へ 東金市 19.1% 海宿町 15.1% 海宿町 15.1% 海石井町 14.9% 大東津市 14.9% 大東津市 14.6% 第3次へ 長南町 14.3% いずみ市 13.4% いずみ市 13.4% 大多喜町 12.7% 第3次から 長南町 12.6% 上10.8% 上10.8% 上10.8% 西東市 12.7% 第3次から 長南町 12.5% 上10.8% 上10.8% 西東市 12.7% 陸沢町 12.5% 上10.8% 上10.8% 上10.8% 西東市 12.7% 陸沢町 12.5% 上10.8% 上10.8% 西東市 12.7% 陸沢町 12.5% 上10.8% 田武市 9.6% 第3次へ 大多喜町 9.3% 第2次へ 大多古町 9.5% 第2次へ 大多町 9.5% 第2次へ 10.5% 10.5			21	•			al.	l		
抽ヶ浦市 22.3% 1			計				計			
自子町 22.0%		(10%以上30%未満)								
東金市 20.8%										## 1 \hr \c
										第1次~
カー九里町										
佐倉市										
理										第3次へ
開 答 品 (大街市										71007
贈答品 図志野市				八街市				いすみ市		
13.8% 大多喜町 12.7% 第3次から 12.6% 11.3% 第3次から 12.6% 11.3% 第3次から 長南町 10.8% 10.3% 12.5% 長上村 11.6% 12.5% 長上村 11.6% 第3次へ 11.7% 11.7.6% 12.5% 長上村 11.6% 第3次へ 11.7.6% 11				勝浦市	15.1%			勝浦市	13.4%	
13.8% 大多喜町 13.8% 大多喜町 12.7% 第3次から 単成市 12.6% 単成市 11.3% 第3次から 長南町 10.8% 11.3% 第3次から 長南町 10.8% 12.7%	暗			習志野市	14.3%			佐倉市	13.3%	
大多喜町 12.7% 第3次から 11.3% 第3次から 12.6% 第3次から 12.6% 第3次から 12.6% 第3次から 12.6% 第3次から 12.6% 第3次から 12.5% 1										
## 12.6% 山武市 11.3% 第3次から 長南町 10.8% 第2次から 長南町 10.3% 第2次から 長生村 11.6% 第3次へ 本東津市 9.4% 第2次から 長生村 8.7% 第2次から 長生村 8.7% 第2次から 横芝光町 8.0% 鴨川市 8.0% 鴨川市 8.0% 鴨川市 6.3% 匝瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 圏外へ 十 12.9% 日子町 12.8% 世記野市 12.5% 長生村 11.6% 第3次へ 大多喜町 9.3% 第2次へ 横芝光町 8.6% 君津市 8.4% 富津市 6.3% 圏州市 7.1% 富里市 6.3% 圏外へ 八千代市 6.3% 圏外へ 世崎町 5.3% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ 神崎町 5.1%						第3次から				
長南町 10.8% 酒々井町 10.3% 第3次商圏 11.6% (5%以上10%未満) 書津市 東生村 11.6% 東京へ 大多専町 大多専町 9.6% 東京へへ 横芝光町 横芝光町 8.6% 君津市 7.1% 富津市 7.1% 富里市 7.1% 富里市 6.3% 野小へ 直瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 芝山町 5.3% 大子代市 6.3% 大子代市 大学大子 6.3%<	нн				12.0%			/4] /4 主西	12.5/0	
酒々井町 10.3%						第3次から				
長生村 11.6% 第3次へ 11.6% 第3	1									
第3次商圏 (5%以上10%未満) 書				酒々井町	10.3%					
(5%以上10%未満)		生の水文 boot	計	_	0 ===		±1			
木更津市 9.4% 第2次から 長生村 8.7% 第2次から 横芝光町 8.6% 君津市 8.4% 君津市 8.4% 富津市 6.3%			řΤ				ĦΤ			
長生村 8.7% 第2次から 横芝光町 横芝光町 8.6% 横芝光町 8.0% 君津市 8.4% 鴨川市 8.0% 富津市 7.1% 富津市 6.3% 鴨川市 7.1% 電車市 6.3% 鴨川市 7.1% 富里市 6.3% 圏外へ 上千代市 6.3% 圏外へ 匝瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ		(3%以上10%木満)				笠の歩から				
横芝光町 8.0% 鴨川市 8.0% 富津市 6.3% 匝瑳市 6.1% 鋸南町 5.9% 新規 日本市 5.5% 芝山町 5.3% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ										
鴨川市 8.0% 富津市 6.3% 匝瑳市 6.1% 鋸南町 5.9% 新規 一大代市 6.3% 一大代市 6.3% 芝山町 5.3% 芝山町 5.3% 神崎町 5.1% 圏外へ						20/1/11-D				
富津市 6.3% 匝瑳市 6.1% 鋸南町 5.9% 新規 四瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 芝山町 5.3% 海外へ 神崎町 5.1% 個外へ	I									
匝瑳市 6.1% 鋸南町 5.9% 新規 「八千代市 6.3% 圏外へ 匝瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ										
銀南町 5.9% 新規 八千代市 6.3% 圏外へ 匝瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ	1									
匝瑳市 5.5% 芝山町 5.3% 圏外へ 神崎町 5.1% 圏外へ						新規				
神崎町 5.1% 圏外へ										
								芝山町	5.3%	圏外へ
合計 30 43.6% 33 41.2%	1							神崎町	5.1%	圏外へ
30, 11.00		合計		30	43.6%		L	33	41.2%	

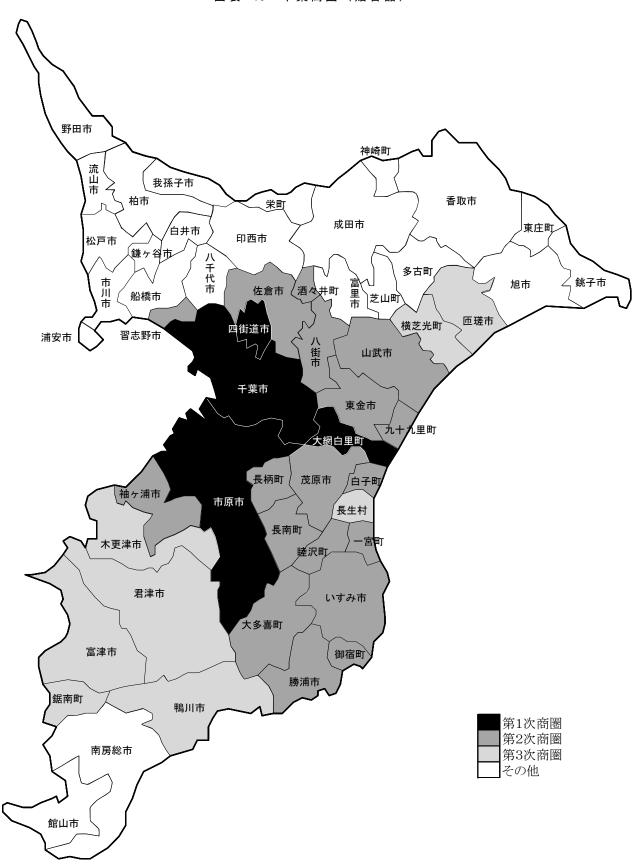
図表 41 千葉商圏(食料品)



図表 42 千葉商圏 (飲食)



図表 43 千葉商圏 (贈答品)



(2)成田商圏 (商業中心都市)

ア 商圏の概要

成田商圏は、印旛ブロックを中心に香取ブロック、海匝ブロック及び山武ブロック北部を 取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では9市7町2村であったが、商圏に入っていなかった印西市が、印旛村及び本埜村と合併して第2次商圏に入ったため、市町村数としては1減少して 10 市7町となった。

第1次商圏は、前回調査時の2市5町1村のうち、1村(印旛村)が印西市と合併して1市になり、第2次商圏に移動したため、2市5町となった。(吸引率72.8%)

第2次商圏は、前回調査時の6市2町1村のうち、1村(本埜村)が印西市と合併して1市(印西市)となり、さらに1市が第3次商圏から入り、1市が第3次商圏へ移動したため、7市2町となった。(吸引率17.5%)

第3次商圏は、前回調査では1市であったが、1市が第2次商圏から入り、 1市が第2次商圏に移動したため、数としては変わらず1市となった。(吸引率 6.4%)

商圏人口は、前回調査時(892,487 人)から 5.0%増加して 937,210 人(成田市人口の約 7.2 倍・県人口の 15.1%) となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(30.5%)から 1.1 ポイント増加して 31.6%となった。

吸引人口は、前回調査時(272,359人)から 8.6%増加して 295,902人(成田市人口の約 2.3倍)となった。

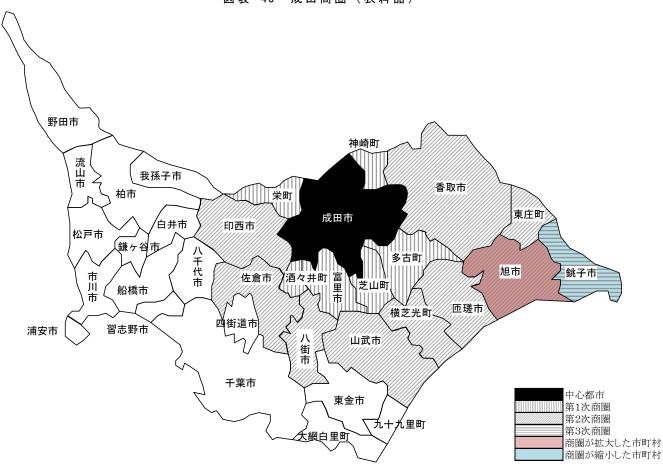
吸引力は、前回調査時(221.8%)から 6.2 ポイント増加して 228.0%となった。

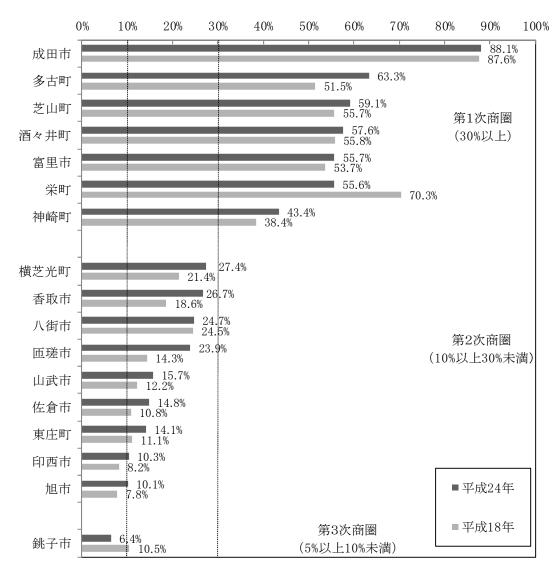
図表 44 成田商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

			平成24年		
商圏 (基準吸引率)	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計 7	72.8%	252,533	183,745	
(30%以上)	成田市	88.1%	129,780	114,336	
	多古町	63.3%	15,531	9,831	
	芝山町	59.1%	7,693	4,547	
	酒々井町	57.6%	21,157	12,186	
	富里市	55.7%	50,136	27,926	
	栄町	55.6%	21,841	12,144	
	神崎町	43.4%	6,395	2,775	
第2次商圏	計	17.5%	616,802	107,813	
(10%以上30%未満)	横芝光町	27.4%	24,286	6,654	
	香取市	26.7%	80,979	21,621	
	八街市	24.7%	72,176	17,827	
	匝瑳市	23.9%	39,090	9,343	
	山武市	15.7%	54,826	8,608	
	佐倉市	14.8%	172,289	25,499	
	東庄町	14.1%	14,803	2,087	
	印西市	10.3%	90,175	9,288	
	旭市	10.1%	68,178	6,886	第3次から
第3次商圏	計	6.4%	67,875	4,344	
(5%以上10%未満)	銚子市	6.4%	67,875	4,344	第2次から
合計	17	31.6%	937,210	295,902	

		平成18年	
	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
計	8	69.9%	
	成田市	87.6%	
	栄町	70.3%	
	酒々井町	55.8%	
	芝山町	55.7%	
	多古町	54.3%	
	富里市	53.7%	
	神崎町	38.4%	
	印旛村	33.7%	※現·印西市
計	9	14.8%	
	八街市	24.5%	
	横芝光町	21.4%	
	香取市	18.6%	
	匝瑳市	14.3%	
	本埜村	12.4%	※現·印西市
	山武市	12.2%	
	東庄町	11.1%	_
	佐倉市	10.8%	
	銚子市	10.5%	第3次へ
計	1	7.8%	
	旭市	7.8%	第2次へ
	18	39.6%	

図表 45 成田商圏(衣料品)





図表 46 成田商圏の吸引状況(市町村別)

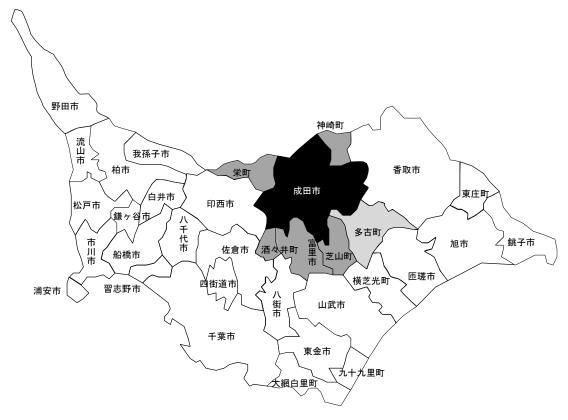
(注)印西市(平成18年)は、旧・印西市、印旛村、本埜村から算出。

その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における成田商圏内の市町村の変化を以下に示す。

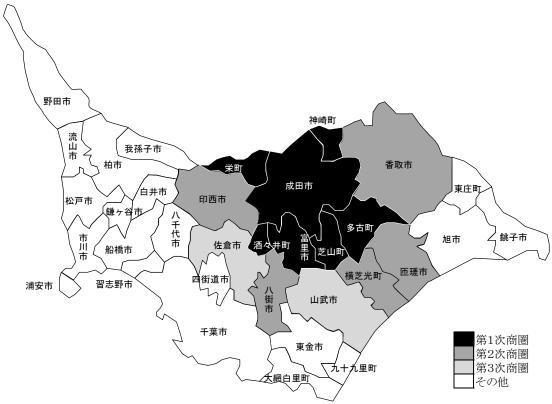
図表 47 成田商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

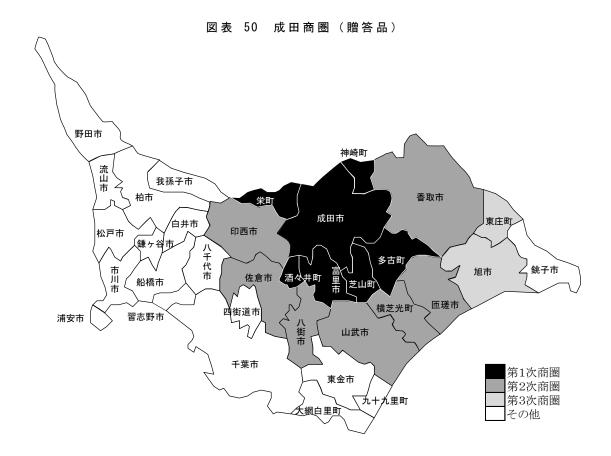
	区农 47 灰	<u> </u>			成24年	友 化 (及 4			7出70年	· · ·
	商圏			+	700.24 牛				Z成18年	
	(基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化
	第1次商圏	計		1	90.5%		計	1		
	(30%以上)		成田市		90.5%			成田市	87.8%	
	第2次商圏	計	14X EH 117	5	14.6%		計	6		
	(10%以上30%未満)	μ,	栄町	J	18.0%		н.	栄町	22.7%	
	(10/02人工30/07代間)		富里市		14.3%			芝山町	14.4%	
食			神崎町		13.5%			神崎町	13.1%	
料			酒々井町		13.2%			多古町		第3次へ
品			芝山町		12.3%			酒々井町	12.2%	200X
			不 田叫		12.5/0			富里市	10.1%	
	第3次商圏	計	<u> </u>	1	9.5%		計	1 田 土 中		
	(5%以上10%未満)	н	多古町	1	9.5%	第2次から	н	印旛村		※現·印西市
	合計		多白町	7		<u> </u>		[日小唐年]		%况"时四川
	百計			1	53.3%			C	47.8%	
	第1次商圏	計		7	79.7%		計	8	75.5%	
	(30%以上)		成田市		95.2%			成田市	95.1%	
		Ī	栄町		74.2%			栄町	84.4%	
			多古町		68.8%			酒々井町	67.7%	
			芝山町		65.4%			神崎町	59.2%	
			神崎町		64.4%			多古町	55.2%	
			酒々井町		64.1%			芝山町	52.7%	
			富里市		55.9%			富里市	50.6%	
								印旛村	32.8%	※現·印西市
飲	第2次商圈	計		5	17.5%		計	4	18.2%	
食	(10%以上30%未満)		八街市		23.8%			八街市	20.5%	
尺			横芝光町		19.0%	第3次から		香取市	19.4%	
			香取市		18.3%			匝瑳市	12.9%	
			印西市		13.8%	※合併		本埜村	12.5%	※現·印西市
			匝瑳市		11.6%					
	第3次商圈	計		2	8.1%		計	4	7.2%	
	(5%以上10%未満)		山武市		8.9%			横芝光町	9.4%	第2次へ
			佐倉市		7.8%			山武市	7.2%	
								佐倉市	6.9%	
								東庄町	6.1%	圏外へ
	合計			14	35.8%			16	34.4%	
	第1次商圏	計		7	77.9%		計	8	76.5%	
	(30%以上)		成田市	Ė	87.3%			成田市	92.2%	
	(00/00/11/		芝山町		84.4%			栄町	75.4%	
			栄町		69.2%			酒々井町	69.5%	
			神崎町		69.0%			芝山町	62.7%	
			酒々井町		68.1%			多古町	62.4%	
			富里市		66.0%			富里市	61.7%	
			多古町		64.1%			神崎町	51.7%	
								印旛村		※現·印西市
	第2次商圏	計		7	18.7%		計	6		
贈	(10%以上30%未満)		香取市		29.7%			本埜村		※現·印西市
答	, ,		横芝光町		26.3%			八街市	26.9%	
品			匝瑳市		25.5%			香取市	26.8%	
			八街市		24.7%			横芝光町	25.7%	
			佐倉市		13.9%	第3次から		山武市	17.7%	
		Ī	山武市		12.5%			匝瑳市	17.4%	
		L	印西市			※合併	L			
	第3次商圏	計		2	8.3%		計	4	8.8%	
	(5%以上10%未満)		旭市		8.4%			佐倉市		第2次へ
		Ī	東庄町		7.7%			銚子市		圏外へ
								東庄町	7.7%	
		Ī						旭市	7.3%	
	合計			16	34.9%			18		
	H (1)	-		. V	0 1.0/0		_	10	. 50.070	

図表 48 成田商圏(食料品)



図表 49 成田商圏 (飲食)





(3) 船橋商圏 (商業中心都市)

ア 商圏の概要

船橋商圏は、葛南ブロックを中心に千葉ブロック北部、東葛ブロック南部及び印旛ブロック西部を取り込んで形成されており、前回調査では5市であったが、2市が加わって7市となった。新たに商圏に加わったのは、浦安市及び八千代市であり、それぞれ5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時の2市から1市が第2次商圏に移動したため、 船橋市1市となった。(吸引率82.8%)

第2次商圏は、前回調査では2市であったが、1市が第1次商圏から加わったため、3市となった。(吸引率17.7%)

第3次商圏は、前回調査では1市であったが、圏外から新たに2市が加わり3市となった。(吸引率5.5%)

商圏人口は、前回調査時(1,359,437人)から、30.2%増加して 1,769,317人(船橋市人口の約2.9倍・県人口の28.5%)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(42.9%)から 5.5 ポイント減少して 37.4% となった。

吸引人口は、前回調査時(583,059人)から13.4%増加して660,907人(船橋市人口の約1.1倍)となった。

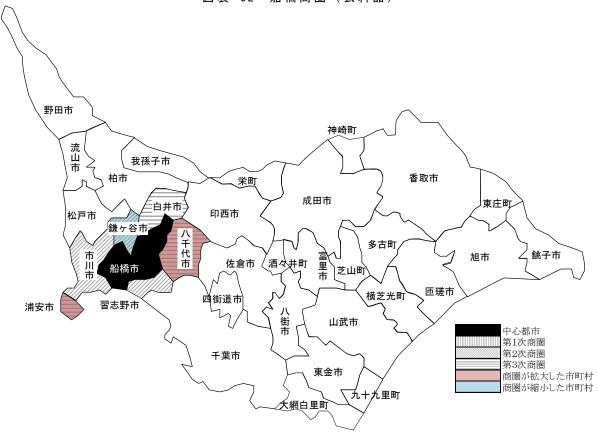
吸引力は、前回調査時(101.4%)から 6.6 ポイント増加して、108.0%となった。

平成24年 商圏 前回調査からの 市町村 商圏人口 吸引人口 市町村 区分の変化 (基準吸引率) 吸引率 第1次商圏 82.8% 611,848 506,610 (30%以上) 船橋市 82.8% 611,848 506,610 第2次商圏 17.7% 743,803 131,633 鎌ヶ谷市 21,888 第1次から (10%以上30%未満) 20.1% 108,898 習志野市 165,286 32,727 19.8% 市川市 16.4% 469,619 77,018 第3次商圏 5.5% 413,666 22,664 (5%以上10%未満) 9,126 新規 浦安市 5.6% 162,964 八千代市 5.4% 189,698 10,244 新規 白井市 5.4% 61,004 3,294 合計

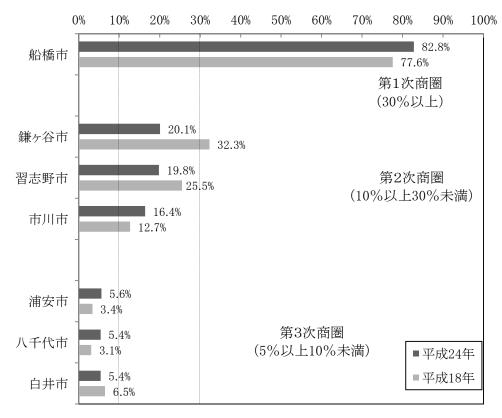
図表 51 船橋商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

			平成18年	
	市町村		市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
計		2	70.7%	
	船橋市		77.6%	
	鎌ヶ谷市		32.3%	第2次へ
計		2	15.9%	
	習志野市		25.5%	
	市川市		12.7%	
計		1	6.5%	
	白井市		6.5%	
		5	42.9%	·

図表 52 船橋商圏 (衣料品)



図表 53 船橋商圏の吸引状況 (市町村別)



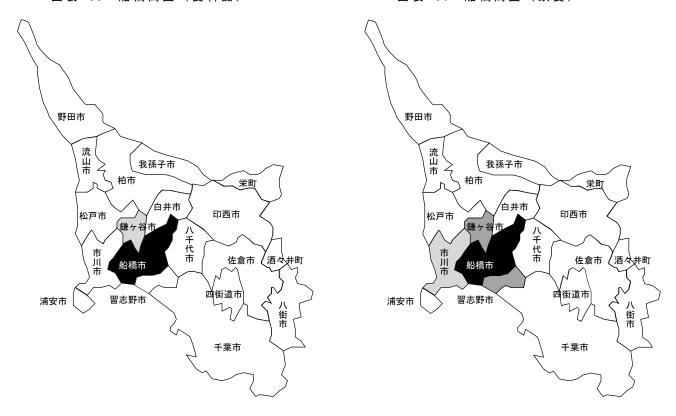
その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における船橋商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 54 船橋商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

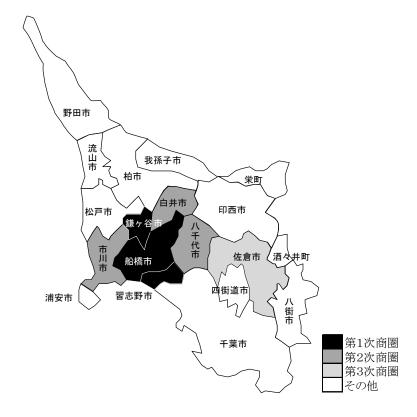
			平成24年					<u> </u>	成18年	
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		1	93.2%		計	1	88.5%	
	(30%以上)		船橋市		93.2%			船橋市	88.5%	
食	第2次商圏	計		0			計	1	10.0%	
料	(10%以上30%未満)							習志野市	10.0%	圏外へ
品	第3次商圏	計	·	1	8.8%		計	1	6.4%	
	(5%以上10%未満)		鎌ヶ谷市		8.8%			鎌ヶ谷市	6.4%	
	合計			2	80.4%			3	63.5%	
	第1次商圏	計		1	88.7%		計	1	83.4%	
	(30%以上)		船橋市		88.7%			船橋市	83.4%	
	第2次商圏	計		2	14.6%		計	2	15.8%	
飲	(10%以上30%未満)		習志野市		15.0%			習志野市	17.6%	
食			鎌ヶ谷市		14.0%			鎌ヶ谷市	13.1%	
	第3次商圏	計	_	2	6.7%		計	0		
	(5%以上10%未満)		市川市		6.7%	新規				
	合計			5	45.3%			3	62.2%	
	第1次商圏	計		3	66.5%		計	3	73.9%	
	(30%以上)		船橋市		79.7%			船橋市	82.0%	
			鎌ヶ谷市		41.9%			鎌ヶ谷市	57.0%	
			習志野市		34.0%			習志野市	55.5%	
	第2次商圏	計		3	16.5%		計	3	23.4%	
贈	(10%以上30%未満)		市川市		17.9%			市川市	27.2%	
答			白井市		17.2%			白井市	17.6%	
日品			八千代市		12.8%			八千代市	15.5%	
μμ	第3次商圈	計		1	5.8%		計	4	7.4%	
	(5%以上10%未満)		佐倉市		5.8%			浦安市		圏外へ
								佐倉市	7.4%	
								本埜村		※現·印西市
		_					_	印旛村		※現·印西市
	合計			7	40.4%			10	42.8%	

図表 55 船橋商圏(食料品)

図表 56 船橋商圏 (飲食)



図表 57 船橋商圏 (贈答品)



(4)茂原商圏 (商業中心都市)

ア 商圏の概要

茂原商圏は、長生ブロックと夷隅ブロック一帯の県南東部に形成しており、 前回調査では3市8町1村であったが、1町が外れ、3市7町1村となった。

第1次商圏は、前回調査時と変わらず2市6町1村となった。(吸引率61.1%)

第2次商圏は、前回調査時と変わらず1市1町となった。(吸引率 25.9%) 第3次商圏は、前回調査時の1町が圏外へ外れたため、該当する市町村はな くなった。

商圏人口は、前回調査時(290,842人)から、20.4%減少して231,623人(茂原市人口の約2.5倍・県人口の3.7%)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(48.9%)から8.0ポイント増加して56.9%となった。

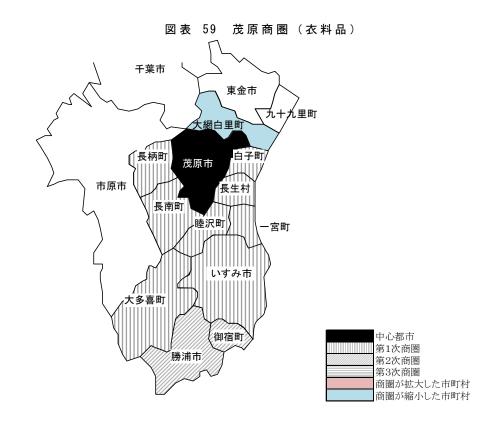
吸引人口は、前回調査時(142,313人)から 7.4%減少して 131,842人(茂原市人口の約 1.4倍) となった。

吸引力は、前回調査時(153.0%)から8.5ポイント減少して144.5%となった。

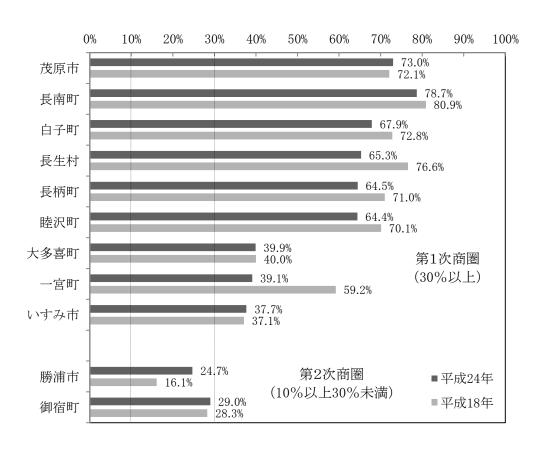
図表 58 茂原商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

				平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計	9	61.1%	203,854	124,655	
(30%以上)		茂原市	73.0%	91,255	66,616	
		長南町	78.7%	8,719	6,862	
		白子町	67.9%	11,798	8,011	
		長生村	65.3%	14,663	9,575	
		長柄町	64.5%	7,832	5,052	
		睦沢町	64.4%	7,149	4,604	
		大多喜町	39.9%	10,402	4,150	
		一宮町	39.1%	11,962	4,677	
		いすみ市	37.7%	40,074	15,108	
第2次商圏	計	2	25.9%	27,769	7,188	
(10%以上30%未満)		御宿町	29.0%	7,660	2,221	
		勝浦市	24.7%	20,109	4,967	
第3次商圏	計	0	_	0	0	
(5%以上10%未満)						
合計		11	56.9%	231,623	131,842	

		平成18年	
	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
計	9	63.3%	
	茂原市	72.1%	
	一宮町	59.2%	
	睦沢町	70.1%	
	長生村	76.6%	
	白子町	72.8%	
	長柄町	71.0%	
	長南町	80.9%	
	いすみ市	37.1%	
	大多喜町	40.0%	
計	2	19.4%	
	勝浦市	16.1%	
	御宿町	28.3%	
計	1	5.4%	
	大網白里町	5.4%	圏外へ
	12	48.9%	



図表 60 茂原商圏の吸引状況 (市町村別)



その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における茂原商圏内の市町村の変化を以下に示す。

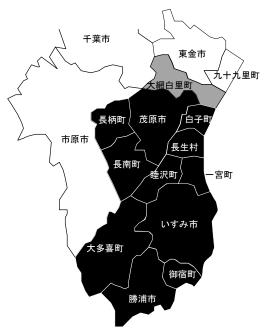
図表 61 茂原商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

				平	成24年			<u>1</u>	成18年	
	商圏					前回調査からの				ム同調木での
	(基準吸引率)		市町村		市町村 吸引率	則凹調査からの 区分の変化		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		6	82.9%		計	5	81.9%	
	(30%以上)		茂原市		92.8%			茂原市	92.5%	
			長南町		84.0%			長南町	76.0%	
			長柄町		79.0%			長柄町	73.0%	
			長生村		63.8%			長生村	60.3%	
^			白子町		54.7%			白子町	39.8%	
食			睦沢町		44.4%	第2次から				
料	第2次商圏	計		2	14.2%		計	2	15.0%	
品	(10%以上30%未満)		一宮町		15.5%			睦沢町		第1次へ
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		大多喜町			第3次から		一宮町	12.1%	
	第3次商圏	計		1	5.8%		計	2	7.8%	
	(5%以上10%未満)		いすみ市	_	5.8%	新規		大多喜町		第2次へ
	(= / • Ø • = = - / • » • • •		, , , , , ,			701774		御宿町		圏外へ
	合計		1	9	60.2%			9	66.5%	
	LI FI			J	00.270			3	00.0%	
	第1次商圏	計	1	11	78.5%		計	10	76.7%	
	(30%以上)		茂原市		91.7%			茂原市	88.2%	
			長南町		97.6%			長生村	93.1%	
			長生村		93.9%			長南町	91.8%	
			白子町		93.5%			睦沢町	91.5%	
			睦沢町		92.0%			白子町	88.8%	
			一宮町		85.8%			一宮町	82.8%	
			長柄町		81.6%			長柄町	75.9%	
飲			大多喜町		79.0%			大多喜町	65.2%	
食			いすみ市		58.2%			いすみ市	57.4%	
			御宿町		41.6%			御宿町	34.8%	
			勝浦市		34.6%	第2次から				
	第2次商圏	計		1	19.8%		計	2	18.2%	
	(10%以上30%未満)		大網白里町		19.8%			勝浦市	20.5%	第1次へ
								大網白里町	17.9%	
	第3次商圏	計		0			計	1	5.2%	
	(5%以上10%未満)							市原市		圏外へ
	合計]	12	68.1%			13		
	第1次商圏	計		8	58.0%		計	9	58.3%	
	(30%以上)		茂原市		65.6%			茂原市	61.4%	
			長南町		80.7%			長生村	82.1%	
			長生村		77.9%			長南町	78.2%	
			白子町		57.0%			睦沢町	77.5%	
			長柄町		57.0%			長柄町	63.7%	
			睦沢町		54.2%			白子町	58.5%	
贈			一宮町		41.6%			一宮町	56.0%	
答			いすみ市		34.5%			いすみ市	40.1%	
品		_						御宿町	30.2%	第2次へ
	第2次商圏	計		3	24.6%		計	2	17.3%	
	(10%以上30%未満)		大多喜町		29.6%			大多喜町	27.8%	
			御宿町		24.1%	第1次から		勝浦市	11.8%	
			勝浦市		22.2%					
	第3次商圏	計		0			計	1	6.6%	
	(5%以上10%未満)						L	大網白里町	6.6%	圏外へ
	合計			11	52.5%			12	44.8%	
						F O				

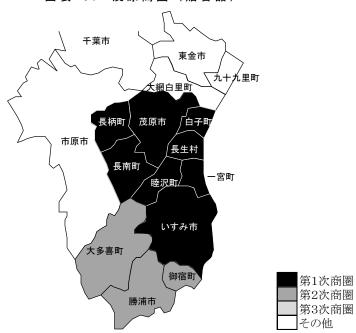
図表 62 茂原商圏 (食料品)

千葉市 東金市 九十九里町 網白里町 長柄町 茂原市 ∫白子町 市原市 長生村 長南町 一宮町 **睦沢町** いすみ市 大多喜町 御宿町 勝浦市

図表 63 茂原商圏(飲食)



図表 64 茂原商圏 (贈答品)



(5)館山商圏(商業中心都市)

ア 商圏の概要

館山商圏は、安房ブロック一帯の県の南端を中心に形成されており、前回調査では2市1町であったが、1市が加わり、3市1町となった。新たに商圏に加わったのは、鴨川市であり、10%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時と変わらず2市1町となった。(吸引率81.4%)

第2次商圏は、前回調査では該当する市町村がなかったが、1市が圏外から新たに入った。(吸引率16.0%)

第3次商圏は、前回調査と同様に該当する市町村はない。

商圏人口は、前回調査時(104,029人)から 28.3%増加して 133,514人(館山市人口の約 2.7倍・県人口の 2.2%)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(80.9%)から16.6ポイント減少して64.3%となった。

吸引人口は、前回調査時(84,120人)から 2.0%増加して 85,788人(館山市 人口の約 1.8倍)となった。

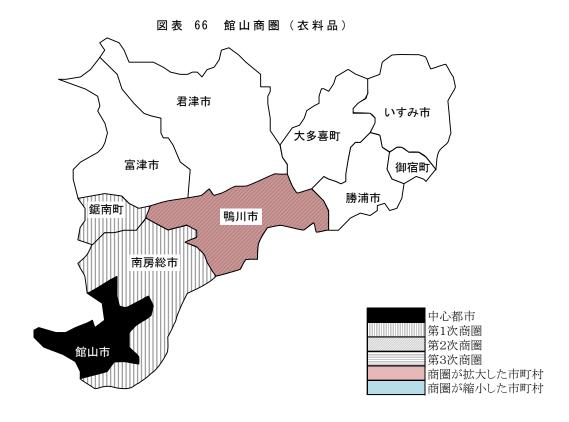
吸引力は、前回調査時(167.3%)から8.7ポイント増加して176.0%となった。

平成24年 商圏 前回調査からの 市町村 商圏人口 吸引人口 市町村 (基準吸引率) 区分の変化 吸引率 第1次商圏 (30%以上) 館山市 48,747 39.924 81.9% 南房総市 84.1% 41,007 34,487 鋸南町 66.4% 8,681 5,764 第2次商圏 16.0% 35,079 5,613 (10%以上30%未満) 鴨川市 <u>35,0</u>79 5,613 新規 16.0% 第3次商圈 (5%以上10%未満)

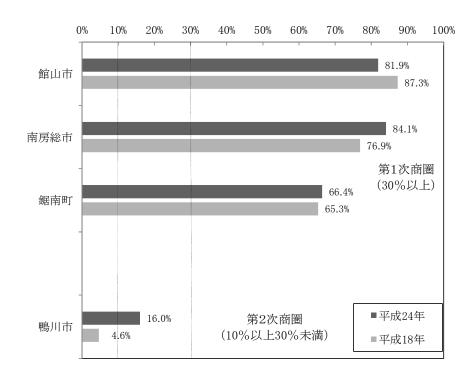
図表 65 館山商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

				今回調査での
	市町村		市町村 吸引率	区分の変化
計		3	80.9%	
	館山市		87.3%	
	南房総市		76.9%	
	鋸南町		65.3%	
計		0	•	
計		0	•	
		3	80.9%	

亚出10年



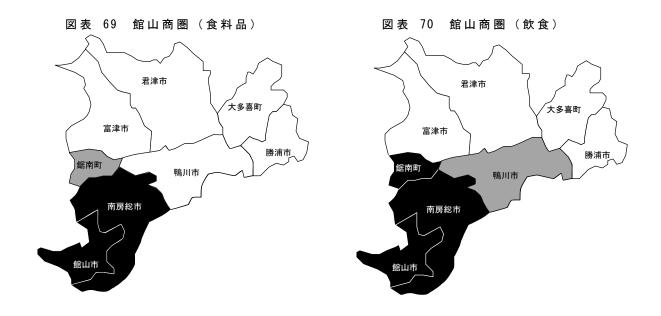
図表 67 館山商圏の吸引状況(市町村別)

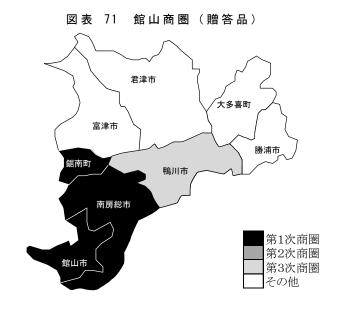


その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における館山商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 68 館山商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

				亚	成24年			<u> </u>	区成18年	
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圈	計		2	79.8%		計	2	72.5%	
	(30%以上)		館山市		97.8%			館山市	97.9%	
食	ate of the	⇒ 1	南房総市		58.4%		⇒ 1	南房総市	43.6%	
料	第2次商圈	計	ΛΠ → m→	1	23.6%	hete a VII a a	計	0		
品	(10%以上30%未満)	計	鋸南町		23.6%	第3次から	計		0.40/	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	ĒΙ		0			ΠI	鋸南町	9.4%	第2次へ
	合計			3	74.8%			<u> 955 円 円 </u>		第2伙 [→]
		⇒ 1					⇒ 1	_		
	> v = > v -v =	計	₩÷	3	90.0%		計	3		
	(30%以上)		館山市		92.6%			館山市	95.2%	
			南房総市 鋸南町		89.9% 76.2%			南房総市 鋸南町	80.3% 55.6%	
飲	第2次商圏	計) 斯 田 H J	1	10.2%		計	兆田川		
食	(10%以上30%未満)	н	鴨川市	1	10.2%	新担	н			
	第3次商圏	計	mg/ · 1 2		10.270	707796	計	0		
	(5%以上10%未満)			0						
	合計			4	69.1%			3	85.2%	
	第1次商圏	計		3	77.7%		計	3	78.7%	
	(30%以上)		館山市	Ü	82.7%			館山市	87.3%	
			南房総市		76.1%			南房総市	74.6%	
贈			鋸南町		56.9%			鋸南町	52.6%	
答	第2次商圈	計		0			計	0		
品	(10%以上30%未満)	L.								
	第3次商圈	計		1	6.8%		計	0		
	(5%以上10%未満)		鴨川市		6.8%	新規				
	合計			4	59.1%			3	78.7%	





(6) 市原商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

市原商圏は、千葉ブロック南部を中心に君津ブロック北部、長生ブロック西部、夷隅ブロック西部を取り込んだ県中央部に形成されており、前回調査時の2市2町から1町が圏外に外れたものの、1市1町が新たに加わり、3市2町となった。新たに商圏に加わったのは大多喜町及び勝浦市で、それぞれ5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査と同様に市原市のみで、吸引率は72.8%となっている。 第2次商圏は、前回調査と同様に1町となった。(吸引率12.6%)

第3次商圏は、前回調査時の1市1町のうち、1町が圏外へ外れ、1市1町が新たに圏外から入ったため、2市1町となった。(吸引率7.3%)

商圏人口は、前回調査時 (357,183人) から 5.8%増加して 377,758人(市原市人口の約 1.4倍) となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(65.8%)から10.0ポイント減少して55.8% となった。

吸引人口は、前回調査時 (234,952 人) から 10.3%減少して 210,690 人 (市原市人口の 75.5%)となった。

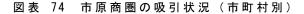
吸引力は、前回調査時(84.0%)から8.5ポイント減少して75.5%となった。

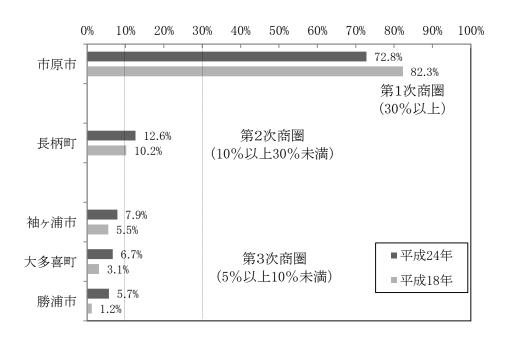
					平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計		1	72.8%	278,962	203,084	
(30%以上)		市原市		72.8%	278,962	203,084	
第2次商圏	計		1	12.6%	7,832	987	
(10%以上30%未満)		長柄町		12.6%	7,832	987	
第3次商圏	計		3	7.3%	90,964	6,619	
(5%以上10%未満)		袖ヶ浦市		7.9%	60,453	4,776	
		大多喜町		6.7%	10,402	697	新規
		勝浦市		5.7%	20,109	1,146	新規
合計			5	55.8%	377,758	210,690	

図表 72 市原商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

	平成18年									
	市町村		市町村吸引率	今回調査での 区分の変化						
計		1	82.3%							
	市原市		82.3%							
計		1	10.2%							
	長柄町		10.2%							
計		2	5.6%							
	長南町		6.3%	圏外へ						
	袖ヶ浦市		5.5%							
		4	65.8%							

図表 73 市原商圏(衣料品) 長柄町 茂原市 「白子町 袖ヶ浦市 市原市 長生村 長南町 木更津市 いすみ市 君津市 大多喜町 富津市 御宿町 勝浦市 鴨川市 鋸南町 南房総市 中心都市 第1次商圏 第2次商圏 館山市 第3次商圏 商圏が拡大した市町村 商圏が縮小した市町村

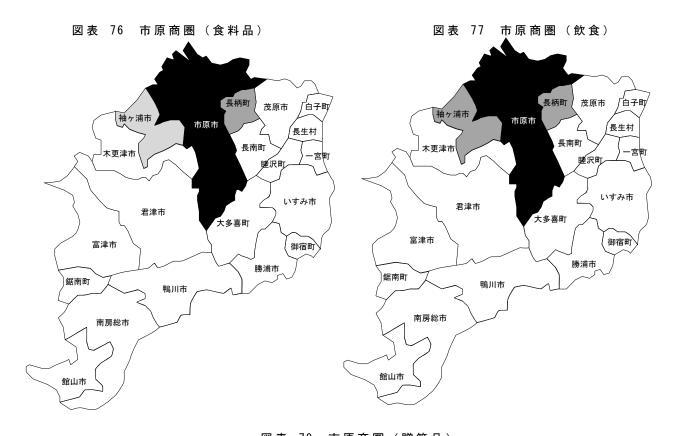




その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における市原商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 75 市原商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

商圏			+	灰24十			- 1	成18年	
商圏		平成24年							
(基準吸引率)		市町村		市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
91次商圏	計		1	90.8%		計	1	90.6%	
30%以上)		市原市		90.8%			市原市	90.6%	
	計		1	11.4%		計	1	19.1%	
10%以上30%未満)		長柄町		11.4%			長柄町	19.1%	
	計		1	5.7%		計	2	8.0%	
5%以上10%未満)		袖ヶ浦市		5.7%			袖ヶ浦市	8.4%	
							長南町	5.7%	圏外へ
計			3	74.2%			4	73.0%	
51次商圏	計		1	80.4%		計	1	87.6%	
1 T D (市原市	1				市原市		
	計	113/2/113	2			計			
1 = 0 (1 = 1 = 1		袖ヶ浦市			新規				
10 /00/(1100 /00/(4))									
第3次商圏	計	123117	0		J V = 9 (1.1)	計		9.5%	
							長柄町		第2次へ
計		•	3	67.0%					
	計		1			卦	1	71.6%	
V = 2 (1 = 1 = 1	РΙ	市百古	1			П			
	計	[山水山	1	30.170		計	•		
1 = 0 (1 = 1 = 1	μι	抽ヶ浦市	1	10.0%	第3次から	н			
	計	17四ク 田 ロ	9		2017/13/2	計	<u>1</u>	6.8%	
100(lm)	н	長板町	4			н			
0 /0%/110 /0/1/1四/					新担				第2次へ
計		ハクロロ	4	0.070	777 I 79E				712V
3 等 1 等 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	0%以上) 2次商圈 0%以上30%未満) 3次商圈 6%以上10%未満) 計 1次商圈 0%以上) 2次商圈 0%以上30%未満) 3次商圈 6%以上10%未満) 計 1次商圈 0%以上10%未満) 計 1次商圈 0%以上10%未満) 3次商圈 6%以上10%未満) 3次商圈	で	でのののでは、	1	0%以上) 市原市 90.8% 2次商圏 計 1 11.4% 0%以上30%未満) 長柄町 11.4% 3次商圏 計 5.7% 計 1 5.7% 抽ヶ浦市 5.7% 計 1 80.4% 市原市 80.4% 市原市 80.4% 市原市 80.4% 市原市 12.7% 長柄町 10.3% 3次商圏 計 6%以上10%未満) 計 1次商圏 1 56.1% 0%以上30%未満) 計 1 56.1% 1次商圏 計 1 56.1% 0%以上30%未満) 計 1 0.0% 3次商圏 計 2 7.2% 長柄町 9.3% 大多喜町 5.6%	1	市原市 90.8% 11.4% 計	市原市 90.8% 市原市 市原市 1 1.4% 計 長柄町 1 1.4% 計 長柄町 1 1.4% 計 長柄町 1 1.4% 計 長柄町 1 1.4%	市原市 90.8% 市原市 90.6% 1 19.1% 19



図表 78 市原商圏 (贈答品) 長柄町 茂原市 袖ヶ浦市 市原市 長生村 長南町 木更津市 一宮町 **睦沢町** いすみ市 君津市 大多喜町 富津市 御宿町 勝浦市 鋸南町 鴨川市 南房総市 第1次商圏 第2次商圏 館山市 第3次商圈 その他

(7) 八千代商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

八千代商圏は、千葉ブロックを中心に葛南ブロックの東部、印旛ブロックの南部を取り込んで形成されており、前回調査では3市であったが、新たに1市が加わり、4市となった。新たに商圏に加わったのは、船橋市で、5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時と変わらず八千代市のみで、吸引率は 83.8%となっている。

第2次商圏は、前回調査時と変わらず1市となった。(吸引率12.1%)

第3次商圏は、前回調査時では1市であったが、1市が新たに圏外から加わり、2市となった。(吸引率7.7%)

商圏人口は、前回調査時(1,283,947人)から 50.9%増加して 1,937,005人(八千代市人口の約 10.2 倍・県人口の 31.3%) となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(19.8%)から4.2ポイント減少して15.6%となった。

吸引人口は、前回調査時(254,500人)から 18.6%増加して 301,781人(八千代市人口の約 1.6 倍)となった。

吸引力は、前回調査時(139.7%)から19.4ポイント増加して159.1%となった。

平成24年 商圏 前回調査からの 市町村 吸引人口 市町村 商圏人口 区分の変化 (基準吸引率) 吸引率 第1次商圏 83.8% 189,698 158,967 八千代市 (30%以上) 83.8% 189,698 158,967 第2次商圏 12.1% 172,289 20,847 佐倉市 (10%以上30%未満) 12.1% 172,289 20,847 第3次商圏 7.7% 1,575,018 121,967 (5%以上10%未満) 船橋市 52,619 新規 8.6% 611,848 千葉市 7.2% 963,170 69,348 合計 15.6% 1,937,005 301,781

図表 79 八千代商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

		7	F成18年	
	市町村		市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
計		1	82.5%	
	八千代市		82.5%	
計		1	11.4%	
	佐倉市		11.4%	
計		1	9.1%	
	千葉市		9.1%	
		3	19.9%	



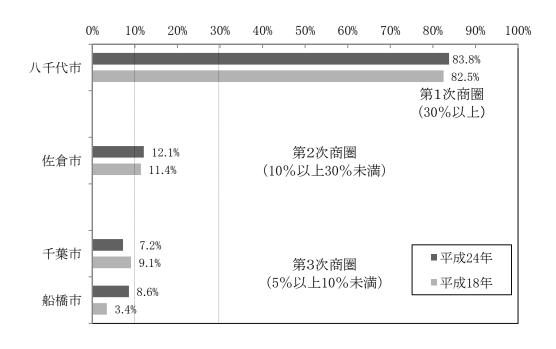
千葉市

中心都市

第1次商圏 第2次商圏

第3次商圏 商圏が拡大した市町村 商圏が縮小した市町村

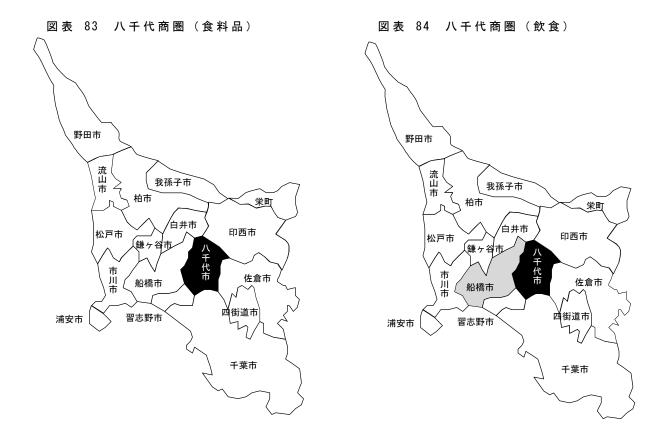
図表 81 八千代商圏の吸引状況 (市町村別)



その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における八千代商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 82 八千代商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

				平	成24年		平成18年					
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化		
	第1次商圈	計		1	89.7%		計	1	88.5%			
_	(30%以上)	31	八千代市		89.7%		- 1	八千代市	88.5%			
食	第2次商圈	計		0			計	0				
料品	(10%以上30%未満)	計		^			計		0.10			
ПП	第3次商圏 (5%以上10%未満)	ĒΙ		0			ĒΙ	千葉市	6.1%	圏外へ		
	合計		1	1	89.7%			2				
	第1次商圈	計		1	85.0%		計		89.9%			
	第166個個 (30%以上)	ПП	八千代市	1	85.0%		μι	八千代市	89.9%			
		計	7 ((1)	0	00.0%		計	0				
飲食	(10%以上30%未満)											
艮	第3次商圈	計		1	5.5%		計	1	5.6%			
	(5%以上10%未満)		船橋市		5.5%	新規		千葉市	5.6%	圏外へ		
	合計			2	24.3%			2	19.4%			
	第1次商圏	計		1	69.8%		計	1	63.8%			
	(30%以上)		八千代市		69.8%			八千代市	63.8%			
贈	第2次商圈	計		0			計	0				
答	(10%以上30%未満)											
品	214 - 2 411-41	計		2	7.2%		計	2				
	(5%以上10%未満)		佐倉市		9.1%	ا مربة		佐倉市	8.8%	1771 A.I		
	٨١		船橋市	_		新規	_	千葉市		圏外へ		
	合計			3	19.4%			3	14.1%			





(8) 印西商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

印西商圏は、印旛ブロック西部に東葛ブロックの東部を取り込んで形成されており、前回調査時の2市1町2村のうち、印西市、印旛村及び本埜村が合併し、印西市となったため、2村減少したが、2市が加わり、4市1町となった。新たに商圏に加わったのは我孫子市及び佐倉市で、我孫子市からは10%以上、佐倉市からは5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査では2市2村であったが、印西市、印旛村及び本埜村が合併して印西市となったため、2村減少して2市となった。(吸引率69.4%)第2次商圏は、前回調査では該当する市町村がなかったが、1市が新たに圏外から入り、また1町が第3次商圏から入ったため、1市1町となった。

(吸引率 19.0%)

第3次商圏は、前回調査時の1町が第2次商圏に移動し、1市が新たに圏外から入り、1市となった。(吸引率5.0%)

商圏人口は、前回調査時(159,612人)から約3倍となり、478,039人(印西市人口の約5.3倍)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(52.0%)から22.1ポイント減少して29.9% となった。

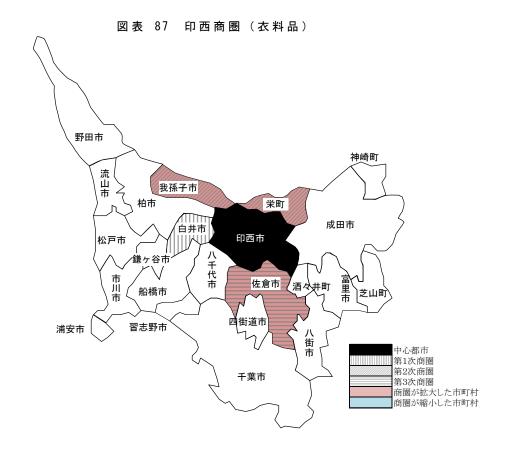
吸引人口は、前回調査時 (83,030人) から 72.0%増加して 142,827人(印西市人口の約 1.6倍)となった。

吸引力は、前回調査時(138.1%)から 20.3 ポイント増加して 158.4%となった。

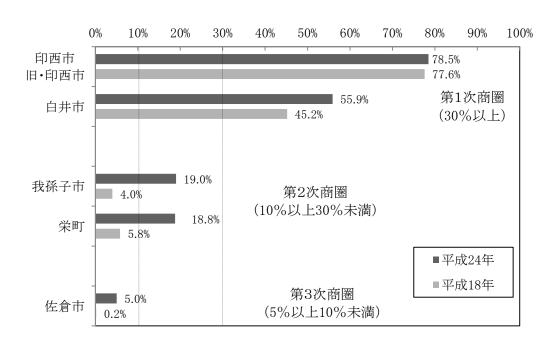
				平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計	2	69.4%	151,179	104,888	
(30%以上)		印西市	78.5%	90,175	70,787	
		白井市	55.9%	61,004	34,101	
第2次商圏	計	2	19.0%	154,571	29,325	
(10%以上30%未満)		我孫子市	19.0%	132,730	25,219	新規
		栄町	18.8%	21,841	4,106	第3次から
第3次商圏	計	1	5.0%	172,289	8,614	
(5%以上10%未満)		佐倉市	5.0%	172,289	8,614	新規
合計		5	29.9%	478,039	142,827	

図表 86 印西商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

で と
ij
ī



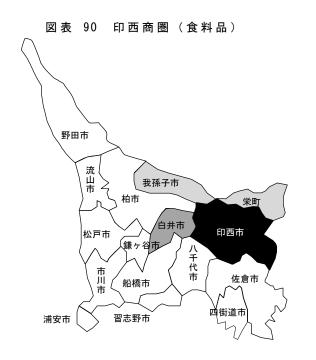
図表 88 印西商圏の市町村の変化(市町村別)



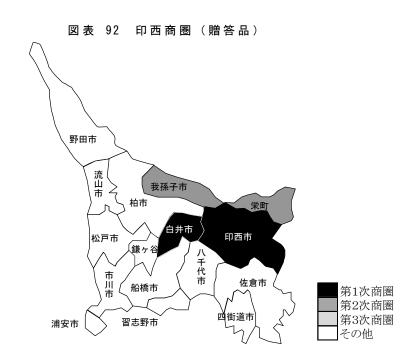
その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における印西商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 89 印西商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

		ı		Πź	+01/E		ı		चं	出10 年	
	-t-100			成24年				+	成18年		
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村			市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		1	84.1%		計		2	88.2%	
	(30%以上)		印西市		84.1%			旧·印西市		90.3%	
								本埜村		73.7%	※現·印西市
A	第2次商圏	計		1	18.8%		計		2	18.9%	
食料	(10%以上30%未満)		白井市		18.8%			印旛村		21.6%	※現·印西市
品								白井市		18.3%	
白白	第3次商圏	計		2	7.6%		計		0		
	(5%以上10%未満)		栄町		8.5%	新規					
			我孫子市		7.5%	新規					
	合計			4	32.4%				4	54.0%	
	第1次商圏	計		2	64.1%		計		4	60.3%	
	(30%以上)		印西市	_	78.7%			旧·印西市	_	89.1%	
	(50 /08/土)		白井市		42.5%			本埜村			※現·印西市
								印旛村			※現·印西市
.14								白井市		31.0%	
飲	第2次商圏	計		2	17.5%		計		0		
食	(10%以上30%未満)		栄町			第3次から					
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		我孫子市		17.5%						
	第3次商圏	計		0			計		1	6.7%	
	(5%以上10%未満)							栄町			第2次へ
	合計			4	40.6%				5	52.3%	
	第1次商圏	計		2	50.9%		計		2	62.6%	
	第1次個圈 (30%以上)	μι	印西市	4	60.7%		μι	旧·印西市	4	64.4%	
	(30/0以上)		白井市			第2次から		本埜村			※現·印西市
贈	第2次商圏	計	ППТП	2	11.7%	知るびから	計	平至们	2	24.0%	次先 的四川
答	第2次問題 (10%以上30%未満)	μι	我孫子市	4	11.8%	- 新相	ні	白井市	4		第1次へ
品品	(10/0以上30/0水側)		火灰 1 川 栄町		10.8%			印旛村			※現·印西市
μμ	第3次商圏	計	\V.™1	0	10.070	/// //T	計	一一	0	40.070	
	第3次简图 (5%以上10%未満)	μι		U			ні		U		
	合計		<u> </u>	4	31.1%			l	4	43.6%	
<u> </u>	口印			4	31.1%				4	43.0%	







(9) 柏商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

柏商圏は、東葛ブロック一帯の県北西部に広がっており、前回調査では6市であったが、1市減少して5市となった。

第1次商圏は、前回調査時の2市から1市が第2次商圏に移動したため、柏市のみとなり吸引率は86.9%となっている。

第2次商圏は、前回調査では2市であったが、1市が第1次商圏から入り、 1市が第3次商圏に移動したため、数としては変わらず2市となった。(吸引率 23.4%)

第3次商圏は、前回調査では2市であったが、1市が第2次商圏から入り、 1市が圏外へ外れたため、数としては変わらず2市となった。(吸引率8.3%) 商圏人口は、前回調査時(1,357,844人)から1.3%減少して1,340,684人(柏 市人口の約3.3倍)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(34.1%)から 1.3 ポイント増加して 35.4%となった。 吸引人口は、前回調査時(463,588人)から 2.3%増加して 474,186人(柏市 人口の約 1.2 倍)となった。

吸引力は、前回調査時(120.6%)から3.4ポイント減少して117.2%となった。

11,670

第2次から

平成24年 商圏 前回調査からの 市町村 商圏人口 吸引人口 市町村 区分の変化 (基準吸引率) 吸引率 第1次商圏 86.9% 404,495 351,506 柏市 (30%以上) 86.9% 404,495 351.506 第2次商圏 23.4% 299,560 70,122 (10%以上30%未満) 流山市 43,709 第1次から 26.2% 166,830 我孫子市 19.9% 132,730 26,413 第3次商圏 8.3% 636,629 52,558 松戸市 (5%以上10%未満) 8.5% 481,032 40,888

7.5%

155,597

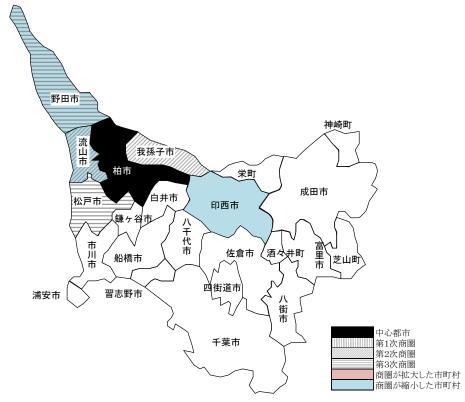
340,684

野田市

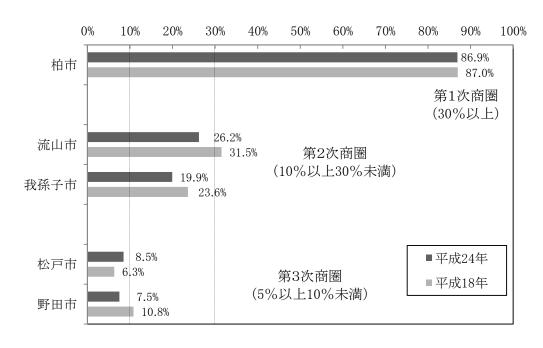
図表 93 柏商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

		7	区成18年	
	±:m:++			今回調査での 区分の変化
	市町村		市町村 吸引率	
計		2	71.1%	
	柏市		87.0%	
	流山市		31.5%	第2次へ
計		2	16.7%	
	我孫子市		23.6%	
	野田市		10.8%	第3次へ
計		2	6.2%	
	松戸市		6.3%	
	印西市		5.0%	圏外へ
		6	34.1%	

図表 94 柏商圏 (衣料品)



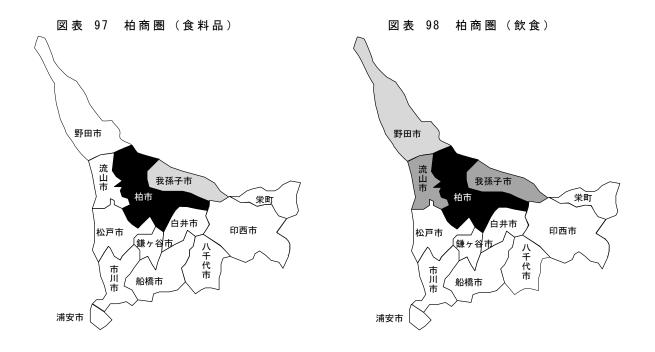
図表 95 柏商圏の吸引状況 (市町村別)

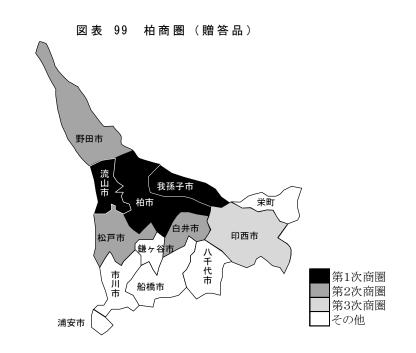


その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における柏商圏内の市町村の変化を 以下に示す。

図表 96 柏商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

				平	成24年			<u>7</u>	区成18年	
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村		市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		1	92.4%		計	1	91.0%	
	(30%以上)		柏市		92.4%			柏市	91.0%	
食	第2次商圏	計		0			計	()	
料	(10%以上30%未満)									
品	第3次商圏	計		1	5.1%		計	1	7.1%	
	(5%以上10%未満)		我孫子市		5.1%	新規		流山市	7.1%	圏外へ
	合計			2	70.8%			2	66.9%	
	第1次商圏	計		1	93.6%		計	1	94.5%	
	(30%以上)		柏市		93.6%			柏市	94.5%	
	第2次商圏	計		2	22.7%		計	2	22.0%	
飲	(10%以上30%未満)		流山市		26.2%			流山市	22.3%	
食			我孫子市		18.3%			我孫子市	21.7%	
	第3次商圏	計		1	7.0%		計	1	6.5%	
	(5%以上10%未満)		野田市		7.0%			野田市	6.5%	
	合計			4	53.2%			4	53.0%	
	第1次商圏	計		3	71.6%		計		77.7%	
	(30%以上)		柏市	0	88.5%			柏市	91.2%	
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		流山市		53.0%			流山市	56.7%	
			我孫子市		43.7%			我孫子市	63.0%	
旧台	第2次商圏	計		3	14.0%		計		22.5%	
贈答	(10%以上30%未満)		野田市		21.0%			野田市	28.6%	
台品			松戸市		12.2%	第3次から		白井市	17.1%	
μμ			白井市		10.0%			印西市	12.0%	第3次へ
	第3次商圈	計		1	6.3%		計			
	(5%以上10%未満)		印西市		6.3%	第2次から		松戸市		第2次へ
								本埜村		※現·印西市
	合計			7	40.7%			8	44.3%	





(10) 銚子商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

銚子商圏は、海匝ブロック中心に香取ブロックの東部を取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では単独商圏であったが、今回、準商業都市として第1次・第2次商圏を形成している。新たに商圏に加わったのは東庄町及び旭市で、それぞれ10%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査と同様に銚子市のみで吸引率は75.5%となっている。 第2次商圏は、前回は該当なしであったが、新たに1市1町が圏外から入り、 吸引率は14.5%となっている。

第3次商圏に該当する市町村はない。

商圏人口は、前回調査時 (73,864人) から約 2.0 倍となり 150,856人(銚子市人口の約 2.2 倍)となった。

商圏内吸引率を見ると、前回調査時の単独商圏都市としての銚子市の地元購買率は 61.5%から 75.5%に増加したが、第2次商圏の吸引率が 14.5%であるため、61.5%から 19.6 ポイント減少して 41.9%となった。

吸引人口は、前回調査時(45,426人)から39.2%増加して63,242人(銚子市人口の93.2%)となった。

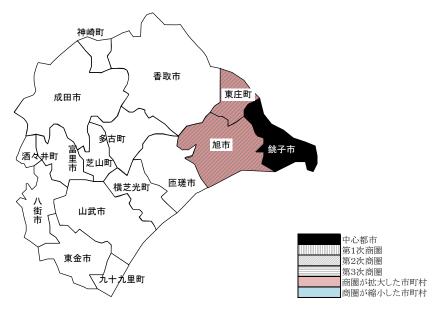
吸引力は、前回調査時(61.5%)から31.7ポイント増加して93.2%となった。

					平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計		1	75.5%	67,875	51,246	
(30%以上)		銚子市		75.5%	67,875	51,246	
第2次商圏	計		2	14.5%	82,981	11,996	
(10%以上30%未満)		東庄町		16.1%	14,803	2,383	新規
		旭市		14.1%	68,178	9,613	新規
第3次商圏	計		0				
(5%以上10%未満)							
合計			3	41.9%	150,856	63,242	

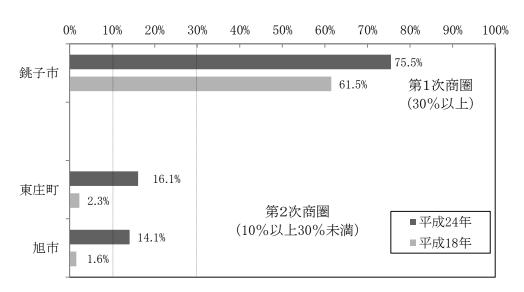
図表 100 銚子商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

		7	区成18年	
	市町村		市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
計		1	61.5%	
	銚子市		61.5%	
計		0		
計		0		
		1	61.5%	

図表 101 銚子商圏(衣料品)



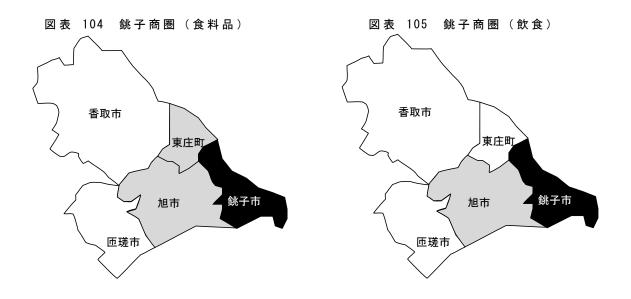
図表 102 銚子商圏の吸引状況 (市町村別)

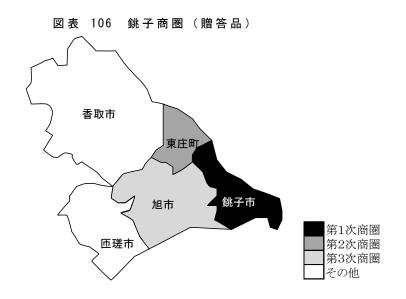


その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における銚子商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 103 銚子商圏の市町村の変化 (食料品・飲食・贈答品)

				平	成24年			Ψ	成18年	
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		1	89.3%		計	1	90.4%	
	(30%以上)	∌1.	銚子市	_	89.3%		∌1.	銚子市	90.4%	
食料	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計		0			計	0		
品品	214 - 2 41H4	計	,	2			計	0		
μμ	(5%以上10%未満)		旭市			新規				
			東庄町			新規				
	合計			3	43.7%			1	90.4%	
	第1次商圈	計		1	81.1%		計	1	79.5%	
	(30%以上)		銚子市		81.1%			銚子市	79.5%	
飲	第2次商圏	計		0			計	0		
食	(10%以上30%未満)	1.								
	第3次商圈	計		1	5.2%		計	0		
	(5%以上10%未満)		旭市	_		新規				
	合計			2	43.1%			<u> </u>	79.5%	
	第1次商圈	計		1	80.6%		計	1	60.4%	
	(30%以上)		銚子市		80.6%			銚子市	60.4%	
贈	第2次商圈	計		1	13.2%		計	0		
答	(10%以上30%未満)	-3.I	東庄町		13.2%	新規	-3.I			
品	71700(1811	計	1 = -	1	9.0%	Jun III	計	0		
	(5%以上10%未満)		旭市			新規		<u> </u>	00 (7)	
	合計			3	41.6%			1	60.4%	





(11) 旭商圏(準商業中心都市)

ア 商圏の概要

旭商圏は、銚子商圏に隣接して、海匝ブロック一帯に香取ブロックの東部を 取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では4市1町であったが、 2市減少して、2市1町となった。

第1次商圏は、前回調査と同様に旭市のみで、吸引率は63.0%となっている。 第2次商圏は、前回調査時の2市1町から1市が圏外へ外れたため、1市 1町となった。(吸引率14.1%)

第3次商圏は、前回調査時の1市が圏外へ外れたため、該当する市町村はなくなった。

商圏人口は、前回調査時(288,502人)から 57.7%減少して 122,071人(旭市人口の約 1.8倍)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(29.6%)から11.8 ポイント増加して41.4% となった。

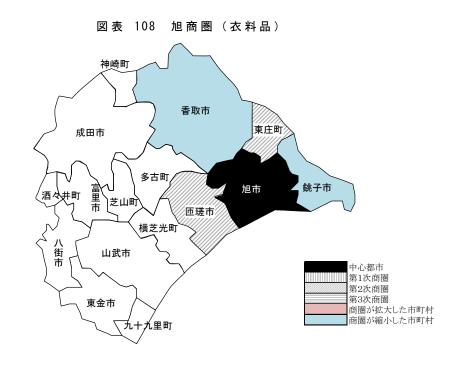
吸引人口は、前回調査時(85,486 人)から 40.9%減少して 50,542 人(旭市人口の 74.1%) となった。

吸引力は、前回調査時(121.3%)から47.2ポイント減少して74.1%となった。

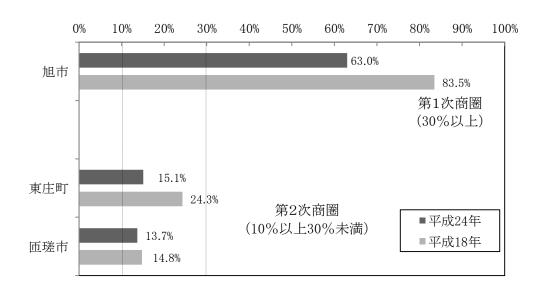
平成24年 前回調査からの 商圏 吸引人口 市町村 商圏人口 区分の変化 市町村 (基準吸引率) 吸引率 第1次商圏 63.0% 68,178 42,952 旭市 (30%以上) 63.0% 68,178 42,952 第2次商圏 計 14.1% 53,893 7,590 東庄町 (10%以上30%未満) 15.1% 14,803 2,235 匝瑳市 5,355 13.7% 39,090 第3次商圏 (5%以上10%未満)

図表 107 旭商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

	市町村			今回調査での
	1111414.1		市町村 吸引率	区分の変化
計		1	83.5%	
	旭市		83.5%	
計		3	16.5%	
	東庄町		24.3%	
	銚子市		15.8%	圏外へ
	匝瑳市		14.8%	
計		1	5.7%	
	香取市		5.7%	圏外へ
		5	29.6%	



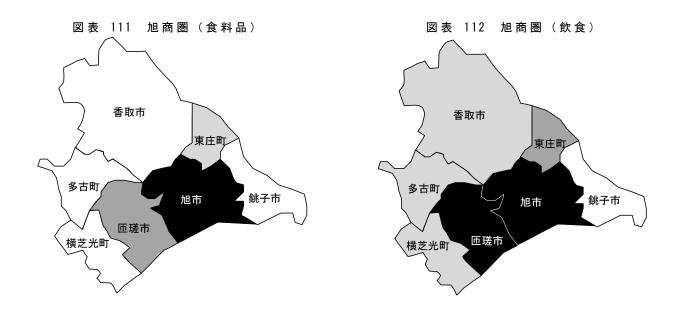
図表 109 旭商圏の吸引状況(市町村別)

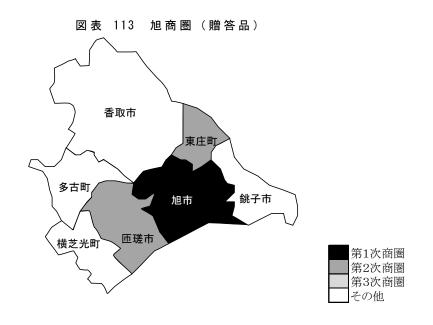


その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における旭商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 110 旭商圏の市町村の変化(食料品・飲食・贈答品)

				Ψ	成24年			7	区成18年	
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		1	90.0%		計	1	98.2%	
	(30%以上)		旭市		90.0%			旭市	98.2%	
食	第2次商圈	計		1	15.8%		計	0		
料料	(10%以上30%未満)		匝瑳市		15.8%	第3次から				
品品	第3次商圈	計		1	9.8%		計	2	8.5%	
ППП	(5%以上10%未満)		東庄町		9.8%			東庄町	9.4%	
								匝瑳市		第2次へ
	合計			3	56.5%			3	57.8%	
	第1次商圏	計		2			計	1	93.4%	
			旭市		87.7%			旭市	93.4%	
	(30%以上)		匝瑳市		30.6%	第2次から				
	第2次商圏	計		1			計	2	15.1%	
飲	(10%以上30%未満)		東庄町		20.6%			東庄町	20.7%	
食								匝瑳市	12.9%	第1次へ
及	第3次商圈	計		3			計	2	7.6%	
	(5%以上10%未満)		横芝光町		7.2%	新規		香取市	6.5%	
			多古町		5.9%	新規		銚子市	8.8%	圏外へ
			香取市		5.0%					
	合計			6	33.6%			5	30.0%	
	第1次商圏	計		1	72.9%		計	1	87.2%	
	(30%以上)		旭市		72.9%			旭市	87.2%	
	第2次商圏	計		2	22.4%		9	3	17.8%	
贈			東庄町		24.2%			東庄町	21.8%	
答			匝瑳市		21.7%			銚子市	17.4%	圏外へ
品	(10%以上30%未満)							匝瑳市	17.0%	
	第3次商圈	計		0			計	0		
	(5%以上10%未満)									
	合計			3	50.6%			4	42.0%	





(12) 東金商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

東金商圏は、山武ブロック一帯に長生ブロック北部を取り込んだ県中東部に 形成されており、前回調査では2市3町であったが、1町が新たに加わり2市 4町となった。新たに商圏に加わったのは、白子町で5%以上を吸引している。 第1次商圏は、前回調査時の1市1町に第2次商圏から1市が加わって2市 1町となった。(吸引率60.6%)

第2次商圏は、前回調査時の1市が第1次商圏に移動し、1町が第3次商圏から入ったため、1町となった。(吸引率10.9%)

第3次商圏は、前回調査時の2町のうち、1町が第2次商圏に移動し、1町が圏外から新たに入ったため、数としては変わらず2町となった。(吸引率5.8%)

商圏人口は、前回調査時(214,395人)から 2.5%増加して 219,654人 (東金市人口の約3.6倍)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(38.2%)から 2.1 ポイント増加して 40.3% となった。

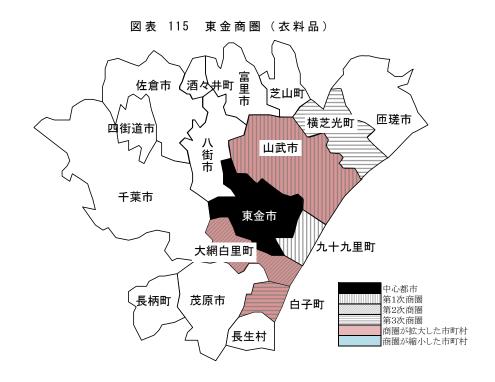
吸引人口は、前回調査時(81,935人)から 8.0%増加して 88,450人(東金市人口の約 1.4倍)となった。

吸引力は、前回調査時(132.8%)から11.4ポイント増加して144.2%となった。

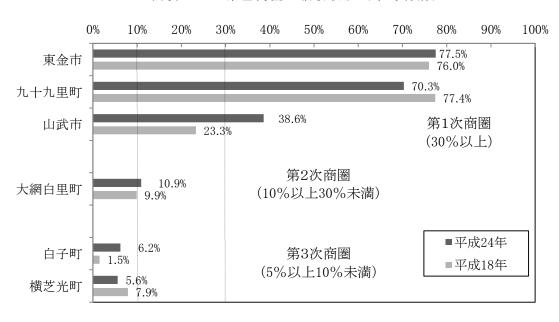
				平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村	市町村吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計	3	60.6%	133,525	80,904	
(30%以上)		東金市	77.5%	61,337	47,536	
		九十九里町	70.3%	17,362	12,205	
		山武市	38.6%	54,826	21,163	第2次から
第2次商圏	計	1	10.9%	50,045	5,455	
(10%以上30%未満)		大網白里町	10.9%	50,045	5,455	第3次から
第3次商圏	計	2	5.8%	36,084	2,091	
(5%以上10%未満)		白子町	6.2%	11,798	731	新規
		横芝光町	5.6%	24,286	1,360	
合計		6	40.3%	219,654	88,450	

図表 114 東金商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

	7	区成18年	
	市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
計	2	76.3%	
	東金市	76.0%	
	九十九里町	77.4%	
計	1	23.3%	
	山武市	23.3%	第1次へ
計	2	9.2%	
	大網白里町	9.9%	第2次へ
	横芝光町	7.9%	
	5	38.2%	



図表 116 東金商圏の吸引状況(市町村別)



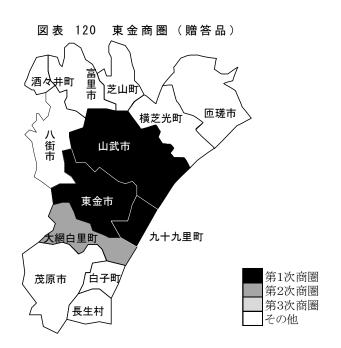
その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における東金商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 117 東金商圏の市町村の変化 (食料品・飲食・贈答品)

				平	成24年			7]	成18年	
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	前回調査からの 区分の変化		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
	第1次商圏	計		2	83.4%		計	1	92.1%	
	(30%以上)		東金市		95.7%			東金市	92.1%	
			九十九里町		39.9%	第2次から				
食	第2次商圏	計		1	19.7%		計	1	21.2%	
料	(10%以上30%未満)		山武市		19.7%	第3次から		九十九里町	21.2%	第1次へ
品	第3次商圏	計		2	7.7%		計	2	5.7%	
	(5%以上10%未満)		大網白里町		8.2%			大網白里町	6.0%	
			白子町		5.6%	新規		山武市		第2次へ
	合計			5	41.6%			4	35.5%	
	第1次商圏	計		3	73.6%		計	3	68.2%	
	(30%以上)		東金市		90.8%			東金市	89.4%	
			九十九里町		84.2%			九十九里町	86.7%	
			山武市		50.9%			山武市	39.9%	
飲	第2次商圏	計		2	21.1%		計	2	16.1%	
食	(10%以上30%未満)		大網白里町		25.6%			大網白里町	17.9%	
			横芝光町		11.8%			横芝光町	12.5%	
	第3次商圏	計		1	6.0%		計	0		
	(5%以上10%未満)		八街市		6.0%	新規				
	合計			6	42.2%			5	49.8%	
	第1次商圏	計		3	54.9%		計	3	53.7%	
	(30%以上)		東金市		70.1%			東金市	68.2%	
			九十九里町		65.1%			九十九里町	75.7%	
贈			山武市		34.6%			山武市	31.5%	
答	第2次商圏	計		1	10.1%		計	1	12.6%	
品	(10%以上30%未満)	4.	大網白里町	_	10.1%			大網白里町	12.6%	
	第3次商圏	計		0			計	1	7.9%	
	(5%以上10%未満)							横芝光町		圏外へ
	合計			4	42.7%			5	38.7%	







(13) 木更津商圏 (準商業中心都市)

ア 商圏の概要

木更津商圏は、君津ブロック一帯に安房ブロック北部を取り込んで形成されており、前回調査と同様に5市となった。

第1次商圏は、前回調査では2市であったが、第2次商圏から1市が加わり3市となった。(吸引率58.0%)

第2次商圏は、前回調査時の1市が第1次商圏に移動したため、該当する市町村はなくなった。

第3次商圏は、前回調査と同様に2市からなり、吸引率は7.8%となっている。 商圏人口は、前回調査時(357,998人)から17.2%増加して361,541人(木 更津市人口の約2.8倍)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(44.7%)から 1.9 ポイント増加して 46.6% となった。

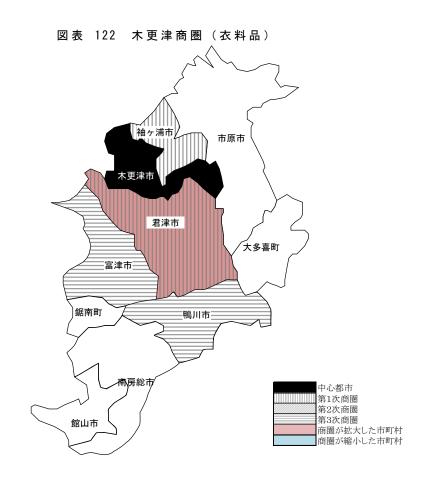
吸引人口は、前回調査時(160,148人)から 5.2%増加して 168,423人(木更津市人口の約 1.3 倍)となった。

吸引力は、前回調査時(130.5%)から1.4ポイント増加して129.1%となった。

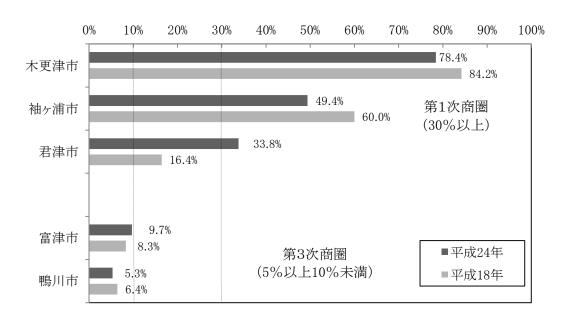
図表 121 木更津商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

				平成24年		
商圏 (基準吸引率)		市町村	市町村吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化
第1次商圏	計	3	58.0%	279,253	161,985	
(30%以上)		木更津市	78.4%	130,418	102,248	
		袖ヶ浦市	49.4%	60,453	29,864	
		君津市	33.8%	88,382	29,873	第2次から
第2次商圏	計	0		0	0	
(10%以上30%未満)					0	
第3次商圏	計	2	7.8%	82,288	6,438	
(5%以上10%未満)		富津市	9.7%	47,209	4,579	
		鴨川市	5.3%	35,079	1,859	
合計		5	46.6%	361,541	168,423	

	平成18年											
	市町村		市町村吸引率	今回調査での 区分の変化								
計	_	2	76.3%									
	木更津市		84.2%									
	袖ヶ浦市		60.0%									
計		1	16.4%									
	君津市		16.4%	第1次へ								
計		2	7.5%									
	富津市		8.3%									
	鴨川市		6.4%									
		5	44.7%									



図表 123 木更津商圏の吸引状況(市町村別)



その他の品目(食料品・飲食・贈答品)における木更津商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 124 木更津商圏の市町村の変化 (食料品・飲食・贈答品)

		平成24年					平成18年			
	商圏 (基準吸引率)		市町村		市町村吸引率	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		市町村	市町村吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圈	計	•	1	90.2%		計	1	92.0%	
	(30%以上)		木更津市		90.2%			木更津市	92.0%	
	第2次商圏	計		2	17.1%		計	1	13.8%	
	(10%以上30%未満)		袖ヶ浦市		17.9%			袖ヶ浦市	13.8%	
			君津市			第3次から				
	第3次商圏	計		1	5.3%		計	1	5.5%	
	(5%以上10%未満)		富津市		5.3%	新規		君津市	5.5%	第2次へ
	合計			4	44.6%			3	46.3%	
飲食	第1次商圏	計		3	64.0%		計	2	71.2%	
	(30%以上)		木更津市		85.8%			木更津市	85.9%	
			袖ヶ浦市		48.7%			袖ヶ浦市	40.8%	
			君津市		42.3%	第3次から				
	第2次商圏	計	•	1	13.2%		計	0		
	(10%以上30%未満)		富津市		13.2%	第3次から				
	第3次商圈	計		1	5.3%		計	3	8.0%	
	(5%以上10%未満)		鴨川市		5.3%			鴨川市	6.5%	
								君津市		第1次へ
								富津市		第2次へ
	合計		5 51.7%			5		40.1%		
贈答品	第1次商圏	計		3	52.8%		計	2	65.4%	
	(30%以上)		木更津市		70.4%			木更津市	73.9%	
			袖ヶ浦市		41.5%			袖ヶ浦市	47.7%	
			君津市		34.5%	第2次から				
	第2次商圈	計		1	12.3%		計	1	18.5%	
	(10%以上30%未満)		富津市		12.3%	第3次から		君津市	18.5%	第1次へ
	第3次商圏	計		0			計	1	8.7%	
	(5%以上10%未満)							富津市	8.7%	第2次へ
	合計			4	46.9%			4	43.5%	

図表 125 木更津商圏 (食料品)

神行浦市

市原市

木更津市

君津市

富津市

銀南町

図表 126 木 更 津 商 圏 (飲食)

神ケ浦市
市原市
木 更津市

君津市

家津市

場別市

